

【買い物支援事業『あつま〜る』】

①この取組みは、買い物困難者を支援する取り組みです。清田区北野地区にあったスーパーが撤退してしまった事で、近所で買い物できる場所がない、高齢になり、いきたいけど、遠いし徒歩では荷物も難しい…などの相談が地域住民から聞かれた事から、当法人のデイサービスのバスを活用した買い物バスの運行を始めました。

②デイサービスのお迎えの送迎終了後（約 11 時～13 時頃）からの運行とし、車両の空き時間を利用してあります。開始にあたっては、清田区社協にも協力いただき、地域との調整役を担っていただきました。その中で、まずは試験的な運行として、範囲（バス停留所）を限って実施しています。※多くの地区から「うちでもやって欲しい！」などの意見もあり、運行場所を定めるのに苦労はありました…

利用者（登録者数）は、徐々に増えてきており、車内にもぎやかで皆さん楽しそうに参加されています。

課題としては、運行のみを基本としているので、ちょっとした手伝い・支援が必要な場合に対応がむずかしくなっています。ボランティアの活用など地域との協議を考えています。

冬場に向けて、希望者が増える可能性があり、当法人のみの車両・人員では対応が難しくなる可能性を懸念しています。

※他法人との合同運行が必要と考えています。

運行範囲が、清田～厚別と区をまたいでおり、区社協との連携については模索しています…

【買物バス・ハレルヤ号】

①札幌市が進める「生活支援体制整備事業」を受け、地域の方への生活支援として、神愛園に何かできることはないかと考えた時、日々の暮らしの中でなかなか買い物に行けず困っているという声を多く耳にし、この「買い物バスハレルヤ号」が誕生しました。

ハレルヤ号は、第一・第三水曜日3つの地区会館を經由しながら、無料で区内の近隣スーパーへ向かいます。1時間程お買い物を楽しんでいただいた後、また最寄りの会館まで送るというサービスです。

②乗車中の楽しげな会話や皆さんの笑顔に触れると、お買い物以上の「楽しみ」が生まれていることに気付きます。それは人と人との温かな「繋がり」。お買い物のついでにちょっと相談事ができたり、情報交換ができたり…私たち福祉職にしかできない買い物支援ができたらと車を走らせています。地域の皆様と一緒に発展させ、地域に根つき長く愛されるサービスにしていきたいと考えております。

【厚別区青葉地区における買い物支援の取り組み】

①実施施設：あおばデイサービスセンター（厚別区青葉町）

この取組は、厚別区青葉地区の自治会が実施する買い物支援に対して、近隣の社会福祉法人（3施設）が車両運行の協力を行なっているものです。支援の対象者は、町内に住む概ね60歳以上で、一人で買い物に行くことに不安がある方で、毎月1回自治会のボランティアが付き添って近隣スーパーで買い物ができるように車両を運行しています。車両運行に係る経費は社会福祉法人が負担しています。

②厚別区青葉町は高齢化率が40%を超えており、自治会（あさがお会）が実施したアンケート調査では、買い物に困っている高齢者が多いことが示されました。

このため、厚別区生活支援コーディネーター、自治会役員、社会福祉法人3施設の協議により買い物支援を実施することになりました。

買い物ツアーに参加した住民からは、重くて普段買えないものを買うことができたなど、感謝の声を聞くことができます。

自治会が中心となった地域の支え合い活動に地域の一員として貢献できた好事例と考えています。

【買い物支援事業】

①施設近隣にあったスーパーが閉店してしまい、地域にスーパーがなくなりました。閉店したのも冬場であったことから、近隣にお住いの方達の生活に影響があるのではないかと、職員同士で話しておりました。

当法人ではデイサービスで使用しなくなったバスがあり、ショッピングモール等のお店への送迎サービスがあればニーズはあるのではないかと考えました。予てより町内会活動に参加してきたこともあり、町内でお困りの方にできる活動として実施できないかということになりました。

②職員会議で諮ったところ「無料送迎サービスとしてしまうと、旅客運送業にも迷惑がかかってしまうのではないか」という意見はありました。ただ、ニーズは確実にあるという意見も多数あったため、望ましい形での実施を模索することとなりました。

町内会の総会でニーズ調査をしたところ、「どこまでニーズがあるかはわからないが、町内会の事を思っていることだから、是非合同企画として協議を進めたい」というお言葉を頂いて、法人の企画ではなく、町内会行事として計画を進める事になりました。このことから、車で移動中は法人の自動車保険、外出先で何かあった場合は町内会の行事保険が適用になることもあり、参加される方が不安になる点も解消できました。

・実施の流れ

1.町内会の回覧板にて「買い物外出の日」として案内文書を回覧→文書作成は法人職員にて。参加人数のとりまとめ連絡窓口は町内会役員の方にて。実施は月1回として、実施日は年金日のあとの方が何かと参加しやすいのではという意見を頂いて15日以降に実施することとなる。

2.実施当日

13:30まで 施設に集合。人数確認後、移動開始

14:00 現地到着。各自買い物開始。→ショッピングモールを買い物地とした為、スーパー、電気用品店、ドラッグストア、ホームセンター、衣類・靴の専門店と多数あり、たいいていのものはそこで揃えられる。

15:30頃 買い物終了。施設へ戻る。

・実施での反省・課題

参加される方は、皆さんご自身で歩行、買い物できる方ばかりではないという事。参加人数がそれほど多くなかったことで、参加職員（4名）で対応できたが、引率が必要な方が参加した場合を考えると、事前にその方の心身状態を知る必要があるのではないかと思った。

参加される方が、そのショッピングモールに初めて来た場合、たくさんお店があることがかえって混乱してしまう(迷ってしまう)こともわかった。集合場所として設定した場所も、その建物内に入ると、とてもわかりづらいなど事前リサーチ不足があった。

数回実施した時点で参加者がいなくなってしまった。実態として、町内会に加入されている方＝町内会活動にも参加出来る方が多く、車の運転ができたり、自身の思うように買い物ができている方が多いとのこと。買い物に困られてしまう高齢の方、お車のない方などは、実は町内会からも退会されていることがわかった。企画を思いついてから実施まで2ヶ月足らずで形になり、順調に定着していけると思っていたが、思いがけずして活動が休止してしまう(3ヶ月)

反省を踏まえての変更点

呼びかける範囲を広げたことで、認知症カフェ、サークル活動で来園されていた方達の口コミで参加が増えており、毎月10～13名程度の方が参加されています。参加されている方は皆さん免許更新をせず車を手放した方、お一人住まいとなり大きな買い物に難儀されている方など、なにかしら買い物にお困りだった方達が参加されています。また参加者同士で話し合い、家にこもりがちになっている知り合いの方に声かけをしてもらったり、参加される方達で輪を広げてくれているのも印象的です。

行き先は市内大型スーパー・ショッピングモールですが、買い物の中心は

皆さん食料品であります。団体で行動しているので、それ以外の大きなものを買うことにはまだ気が引けるという意見もあります。これから春を迎え、暖かくなりますので、野菜を販売している青空市のような所にも行く計画を進めています。